

## 福岡県の気象概況（平成17年1月～12月）

福岡管区気象台

### （1）1月の気象概況

#### ○1月上旬：冬型の気圧配置となりやすく、曇りや雪または雨の日が多い

上旬は冬型の気圧配置となりやすく、曇りや雪または雨の日が多かった。1日は前日から強い冬型の気圧配置が続き、県内各地で0～19ミリの降水量を観測した。気温は、旬の初めと終わりは平年より低かったが、中頃はほぼ平年並であった。県内各地の旬平均気温は平年より0.3～2.3℃低く、旬降水量は4～25ミリ（平年比22～94%）であった。旬日照時間は県内すべての観測所で平年より少なかった。

福岡の旬の平均気温は平年より低く、降水量と日照時間は少なかった。

#### ○1月中旬：冬型の気圧配置となりやすく、曇りや雪または雨の日が多い

中旬は冬型の気圧配置となりやすく、曇りや雪または雨の日が多かった。特に15日から16日にかけては冬型の気圧配置が強まり、県内各地で雷を伴い3～41ミリの降水量を観測した。気温は、旬の前半を中心に平年より低い日が多かった。県内各地の旬平均気温は平年より0.0～1.3℃低く、旬降水量は9～49ミリ（平年比43～139%）であった。旬日照時間は県内各地で平年より少なかった。

福岡の旬の平均気温と降水量は平年並、日照時間は少なかった。

#### ○1月下旬：寒気の影響を受けにくく、気温は高い

下旬は低気圧や前線の影響を受けることが多く、曇りや雨の日が多かった。23日は低気圧が九州南岸を通過したため、県内各地で8～19ミリの降水量を観測した。31日は冬型の気圧配置が強まって気温が下がり、県内各地で0～6ミリの降水量を観測した。気温は、寒気の影響を受けることが少なく、すべての観測所で平年より高かった。県内各地の旬平均気温は平年より0.6～1.2℃高く、旬降水量は17～34ミリ（平年比79～167%）であった。旬日照時間は県内各地で概ね平年並か少なかった。

福岡の旬の平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間は少なかった。

## **(2) 2月の気象概況**

### **○2月上旬：寒気や気圧の谷の影響で、曇りや雪または雨の日が多い**

上旬は寒気や気圧の谷の影響で曇りや雪または雨の日が多かった。旬の前半は1日を中心に強い冬型の気圧配置が持続し、3日にかけて県内各地で0～13ミリの降水量を観測した。また2日は久留米で4センチの積雪を観測した。後半は気圧の谷の影響を受けやすく、7日は県内各地で3～18ミリ、9日から10日にかけては6～18ミリの降水量を観測した。気温は、旬の前半は平年より低く、後半は高かった。県内各地の旬平均気温は平年より0.1～0.6℃低く、旬降水量は14～35ミリ（平年比103～168%）であった。旬日照時間は県内すべての観測所で平年よりかなり少なかった。

福岡の旬の平均気温と降水量は平年並、日照時間はかなり少なかった。

### **○2月中旬：寒気や気圧の谷の影響で、曇りや雪または雨の日が多い**

中旬は寒気や気圧の谷の影響を受けやすく、曇りや雪または雨の日が多かった。15日から16日にかけては低気圧が九州北部付近を通過したため、県内各地で18～55ミリの降水量を観測した。18日は低気圧が九州の南海上を通過したため、県内各地で16～22ミリの降水量を観測した。その後、冬型の気圧配置となって県内各地で0～3ミリの降水量を観測した。気温は、旬の初めと終わりは平年より低かったが、中頃は平年より高かった。県内各地の旬平均気温は平年差-0.7～+0.2℃で、旬降水量は37～84ミリ（平年比113～220%）と多かった。旬日照時間は県内各地で平年よりかなり少なかった。

福岡の旬の平均気温は平年並、降水量は多く、日照時間はかなり少なかった。

### **○2月下旬：寒気の影響を受けやすく、気温は低い**

下旬は寒気の影響を受けることが多く、気温はすべての観測所で平年より低かった。24日は低気圧が九州の南岸を通過したため、県内各地で11～31ミリの降水量を観測した。県内各地の旬平均気温は平年より1.2～2.4℃低く、旬降水量は12～32ミリ（平年比43～121%）であった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より多かった。

なお、八幡、添田では2月の月間日照時間の少ない方からの第1位を更新した。

福岡の旬の平均気温は平年より低く、降水量と日照時間は平年並であった。

### **(3) 3月の気象概況**

#### **○3月上旬：天気は周期的に変化、6日は福岡、八幡で5センチの積雪を観測**

上旬は低気圧と高気圧が交互に通過し、中頃は寒気の影響を受けて、天気は周期的に変化した。3日は低気圧の影響で、県内各地で0～14ミリの降水量を観測した。5日から6日にかけては低気圧や強い寒気の影響で、県内各地で0～12ミリの雷を伴った降水量を観測し、6日は福岡、八幡で5センチの積雪を観測した。気温は、旬の中頃までは寒気の影響で平年より低かったが、8日から10日は平年を大きく上回った。特に10日は宗像で日最高気温が20℃を超えるなど県内各地で4月中旬並の暖かさとなった。県内各地の旬平均気温は平年差-1.1～+0.6℃で、旬降水量は5～27ミリ（平年比13～80%）であった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より多かった。

福岡の旬の平均気温、降水量、日照時間ともに平年並であった。

#### **○3月中旬：寒気の影響を受けやすく、気温が低い日が多い、17日は春一番が吹く**

中旬は寒気の影響を受けやすく、平年に比べて気温の低い日が多かった。特に12日から13日にかけては真冬並の寒気が上空に流れ込み、各地で気温が平年を大きく下回った。17日は南から暖かい風が吹き込み「春一番」が吹いた。また、17日は寒冷前線が九州を南下したため、県内各地で21～70ミリの降水量を観測した。県内各地の旬平均気温は平年より0.8～1.7℃低く、旬降水量は23～79ミリ（平年比44～119%）であった。旬日照時間は県内各地で概ね平年並であった。

福岡の旬の平均気温は平年より低く、降水量は少なく、日照時間は平年並であった。

#### **○3月下旬：天気は短い周期で変化、29日は福岡でソメイヨシノ開花**

下旬は高気圧や低気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。22日から24日にかけては寒気や低気圧等の影響で、県内各地で31～102ミリの雷を伴った雨やみぞれが降った。27日から28日にかけては低気圧や前線の影響で、県内各地で9～25ミリの降水量を観測した。気温は短い周期で変動し、旬としては筑後地方で平年より低かった他は平年並であった。また、29日は福岡でソメイヨシノの開花（平年より3日遅く、昨年より12日遅い）を観測した。県内各地の旬平均気温は平年差-1.3～+0.5℃で、旬降水量は41～127ミリ（平年比87～167%）であった。旬日照時間は県内各地で平年より多かった。

福岡の旬の平均気温と降水量は平年並、日照時間は多かった。

#### (4) 4月の気象概況

##### ○4月上旬：天気は周期的に変化、気温はかなり高い

上旬は高気圧や低気圧が交互に通る、天気は周期的に変化した。3日は上空の寒気の影響で、県内各地で0～15ミリの雷を伴った雨が降った。6日から7日にかけては気圧の谷が通過した影響で、県内各地で2～27ミリの雨が降った。10日は前線の影響で、県内各地で2～37ミリの雨が降った。気温は、旬の前半は概ね平年並となったが、後半は平年を大きく上回り、県内各地で日最高気温が25℃以上の夏日となる日があった。県内各地の旬平均気温は平年より2.3～3.6℃高く、旬降水量は14～73ミリ（平年比26～61%）と少なかった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より多かった。

福岡の旬の平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間は平年並であった。

##### ○4月中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多い、日照時間が多い

中旬の初めと終わりは前線や気圧の谷の影響を受けたが、その他の日は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。20日は前線の影響で、県内各地で9～58ミリの雨が降った。気温は、旬の前半は平年を下回ったが、後半は平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より0.0～0.9℃高く、旬降水量は12～64ミリ（平年比34～89%）と少なかった。旬日照時間は県内各地で平年より多かった。

福岡の旬の平均気温は平年並、降水量は少なく、日照時間はかなり多かった。

##### ○4月下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多い、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多い 29日は福岡で日最高気温30.1℃

下旬は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。25日と30日に気圧の谷の影響で雨の降った所もあったが、降水量は数ミリ程度であった。気温は、旬の前半は概ね平年並であったが、後半は平年よりかなり高くなった。特に29日は福岡で日最高気温30.1℃を観測するなど、福岡、飯塚、宗像、八幡、前原、甘木ではそれぞれ4月の日最高気温の高い方からの第1位を更新した。また、行橋、前原、添田、頂吉、英彦山では4月の月間降水量の少ない方からの第1位を、宗像、前原、太宰府では4月の月間日照時間の多い方からの第1位を更新した。県内各地の旬平均気温は平年より0.7～2.5℃高く、旬降水量は0～9ミリ（平年比0～21%）とかなり少なかった。旬日照時間は県内各地で平年よりかなり多かった。

福岡の旬の平均気温は平年よりかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった。

## (5) 5月の気象概況

### ○5月上旬：天気は周期的に変化、気温は高く降水量も多い

上旬は高気圧や低気圧が交互に通り、天気は周期的に変化した。1日は低気圧が通過した影響で、県内各地で38～98ミリの雨が降り、雷を伴った所もあった。特に大牟田では1時間に47ミリの激しい雨を観測し、5月の日最大1時間降水量の第1位を更新した。6日は低気圧が通過した影響で、県内各地で14～51ミリの雨が降った。気温は、旬の前半は平年より高かったが、後半は平年並か平年を下回った。県内各地の旬平均気温は平年より0.5～1.3℃高く、旬降水量は59～158ミリ（平年比128～231%）で平年並か平年より多かった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より多かった。

福岡の旬の平均気温は平年より高く、降水量は多く、日照時間は平年並であった。

### ○5月中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多い、日照時間がかなり多い

中旬は周期的に前線や気圧の谷の影響を受けたが、その他の日は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。18日は寒冷前線が南下した影響で、県内各地で3～73ミリの雨が降った。気温は、旬の初めに平年を下回る日もあったが、それ以降は平年並か平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より0.3～1.2℃高く、旬降水量は3～73ミリ（平年比4～66%）と少なかった。旬日照時間は県内各地で平年よりかなり多かった。

福岡の旬の平均気温は平年並、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった。

### ○5月下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多い、降水量は少なく、日照時間は多い

下旬は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。22日には低気圧の影響で雨の降った所あったが、降水量は数ミリ程度であった。気温は、旬を通して概ね平年並で経過した。県内各地の旬平均気温は平年差-0.5～+0.4℃で、旬降水量は0～6ミリ（平年比0～15%）とかなり少なかった。旬日照時間は県内各地で平年よりかなり多かった。

多照傾向が続き、宗像、八幡、行橋、前原、太宰府、添田、甘木、久留米、黒木では5月の月間日照時間の多い方からの第1位を更新した。

福岡の旬の平均気温は平年並、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった。

## (6) 6月の気象概況

### ○6月上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多い、気温は高く、降水量は少ない 九州北部地方は10日頃梅雨入り

上旬は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。2日は前線の影響で、10日は低気圧の影響で雨が降ったが、降水量は少なかった。九州北部地方は10日頃梅雨入りした（平年より5日遅く、昨年より12日遅い）。気温は、旬の中頃は平年を下回る日があったが、その他の日は平年を上回った。県内各地の旬平均気温は平年より0.9～1.8℃高く、旬降水量は5～22ミリ（平年比10～31%）で平年より少なかった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より多かった。

福岡の旬の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は少なく、日照時間は平年並であった。

### ○6月中旬：梅雨前線の影響は小さく降水量は少ない、14日と20日に少雨に関する情報を発表

中旬は梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りの日が多かったが、影響は小さく降水量は少なかった。11日は寒冷前線が通過したため、県内各地で2～48ミリの雨が降った。気温は、旬の中頃に平年を下回る日もあったが、その他の日は平年並か平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より0.0～1.9℃高く、旬降水量は2～48ミリ（平年比3～68%）と少なかった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より多かった。

福岡の旬の平均気温は平年並、降水量はかなり少なく、日照時間は平年並であった。

### ○6月下旬：梅雨前線の影響は小さく降水量は少ない、気温はかなり高い、 すべての観測所で6月の月平均気温の高い方の極値を更新、多くの観測所で6月の 月降水量の少ない方の極値を更新

下旬の前半は梅雨前線が九州の南岸から南海上に停滞したが、影響は少なかった。後半は太平洋高気圧の周辺部となり、南から湿った空気が流れ込んだため大気の状態が不安定となり、30日に甘木で1時間に56ミリ（6月の多い方の第1位を更新）の非常に激しい雨を観測するなど、局地的に短時間強雨となった。気温は、旬を通して平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より2.4～4.3℃高く、旬降水量は0～102ミリ（平年比0～55%）と少なかった。旬日照時間は県内のすべての観測所で平年より多かった。

県内のすべての観測所で6月の月平均気温の高い方の第1位を更新した。また、少雨傾向が続き、頂吉、行橋、篠栗、飯塚、前原、福岡、太宰府、添田、英彦山、久留米では6月の月降水量の少ない方の第1位を更新した。さらに、前原では6月の月間日照時間の多い方の第1位を更新した。

福岡の旬の平均気温は平年よりかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間は多かった。

## (7) 7月の気象概況

### ○7月上旬：梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多い

上旬は、1日から5日にかけては朝鮮半島付近から九州北部付近に停滞した梅雨前線に向かって南から暖かい湿った空気が流れ込んだ影響で、県内各地でまとまった雨が降った。6日以降は梅雨前線が九州の南岸付近まで南下した後、再び対馬海峡付近まで北上し、9日から10日にかけて県南部を中心に大雨となった。特に10日は耳納山で1時間に54ミリの非常に激しい雨を観測し、7月の日最大1時間降水量の多い方からの第1位を更新した。気温は、旬の前半は平年より高く、後半は平年並であった。県内各地の旬平均気温は平年より0.4～1.8℃高く、旬降水量は226～482ミリ（平年比146～290%）と多かった。旬日照時間は県内各地で平年より少なかった。

福岡の旬の平均気温は平年より高く、降水量は多く、日照時間はかなり少なかった。

### ○7月中旬：前半は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、後半は高気圧に覆われ晴れの日が多い 九州北部地方は17日頃梅雨明け

中旬の前半は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、後半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。九州北部地方は17日頃梅雨明けした（平年より1日早く、昨年より6日遅い）。梅雨前線の影響で、13日は県内各地で雷を伴って2～46ミリの雨が降り、15日は篠栗で31ミリなど局地的に雷を伴った雨が降った。17日は強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、甘木で31ミリなど局地的に雷を伴った雨が降った。気温は、旬の前半は平年より低い日もあったが、後半は平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より0.4～1.2℃高く、旬降水量は11～85ミリ（平年比9～76%）と少なかった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より多かった。

福岡の旬の平均気温、降水量、日照時間ともに平年並であった。

### ○7月下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多い

下旬の前半を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多かった。台風第7号は日本の南を北東進し、26日に房総半島に上陸したが県内への影響はなかった。29日から31日にかけては前線の影響で概ね曇りの天気となり、局地的に雷を伴った雨が降った。気温は平年並か高かったが、旬の中頃と終わりに平年を下回る日があった。県内各地の旬平均気温は平年より0.3～1.0℃高く、旬降水量は17～91ミリ（平年比25～126%）であった。旬日照時間は県内各地で概ね平年より多かった。

福岡の旬の平均気温、降水量、日照時間ともに平年並であった。

## **(8) 8月の気象概況**

### **8月上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多い、6日は添田で1時間に53ミリの雨**

上旬は中頃を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多かった。1日から2日にかけては朝鮮半島付近にある低気圧や前線の影響で、県内各地で0～35ミリの雨が降った。5日から6日にかけては強い日射の影響で、県内各地で0～68ミリの雷を伴った雨が降り、特に添田では6日に1時間53ミリの非常に激しい雨を観測した。9日は強い日射の影響で、篠栗で54ミリなど局地的に雷を伴う雨が降った。気温は、旬の初めは平年を下回る日があったが、それ以降は平年並か平年を上回って経過した。県内各地の旬平均気温は平年より0.7～1.9℃高く、旬降水量は2～78ミリ（平年比5～174%）であった。旬日照時間は県内各地で概ね平年並であった。

福岡の旬の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は少なかった。

### **○8月中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多い**

中旬は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日もあったが、その他の日は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。18日は強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、頂吉で1時間に41ミリなど局地的に雷を伴った雨が降った。20日は対馬海峡に停滞する前線に南から湿った空気が流れ込んだ影響で、県内各地で1～23ミリの雨が降った。気温は、20日を除いて平年を上回って経過した。県内各地の旬平均気温は平年より0.8～1.5℃高く、旬降水量は5～63ミリ（平年比7～86%）で平年並か少なかった。旬日照時間は県内各地で平年より多かった。

福岡の旬の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は多かった。

### **○8月下旬：前半は曇りや雨の日が多く、後半は晴れの日が多い**

下旬の前半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、特に21日から23日にかけては前線の影響で、県内各地で8～69ミリの雨が降った。後半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。気温は、旬の前半を中心に平年より低かった。県内各地の旬平均気温は平年より0.2～0.9℃低く、旬降水量は9～82ミリ（平年比12～84%）で平年を下回った。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より少なかった。

なお、八幡で8月の月降水量の少ない方からの第1位を更新した。

福岡の旬の平均気温は平年並、降水量と日照時間は少なかった。

## **(9) 9月の気象概況**

### **○9月上旬：台風や前線の影響で曇りや雨の日が多い**

#### **6日は添田と英彦山で日降水量の年間の第1位を更新**

上旬は、初めは高気圧に覆われたが、台風や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。3日はフェーン現象の影響で、甘木で37.1℃、久留米で36.0℃の最高気温を観測し、9月の日最高気温の高い方からの第1位を更新した。6日は台風第14号の影響で、県内各地で26～344ミリの雨が降り、八幡、行橋、添田、頂吉、英彦山の5つの観測所で9月の日降水量の多い方からの第1位を更新した。特に添田と英彦山では日降水量の年間の多い方からの第1位を更新した。10日は前線が対馬海峡に停滞した影響で、県内各地で3～66ミリの雨が降った。気温は、旬の中頃に平年より低い日もあったが、その他の日は平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より1.1～2.0℃高く、旬降水量は58～497ミリ（平年比94～642%）であった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より少なかった。

福岡の旬の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は少なかった。

### **○9月中旬：天気は周期的に変化、気温はかなり高い**

中旬は高気圧と前線や低気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。前線や低気圧の影響は小さく、降水量は少なかった。気温は、旬の中頃に平年並となったが、その他の日は平年よりかなり高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より2.3～2.9℃高く、旬降水量は1～17ミリ（平年比2～20%）と少なかった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より多かった。

福岡の旬の平均気温は平年よりかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間は平年並であった。

### **○9月下旬：高気圧に覆われ晴れの日が多い、顕著な高温少雨多照**

下旬は高気圧に覆われて晴れの日が多く、降水量はかなり少なかった。気温は、旬の中頃に平年並となったが、その他の日は平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より1.8～2.8℃高く、旬降水量は0～1ミリ（平年比0～2%）とかなり少なかった。旬日照時間は県内各地で平年よりかなり多かった。

なお、太宰府、久留米、大牟田では9月の月平均気温の高い方からの第1位を更新した。

福岡の旬の平均気温は平年よりかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった。

## (10) 10月の気象概況

### ○10月上旬：前線の影響で曇りや雨の日が多い

#### 1日は県内10地点で日最高気温の10月の高い方からの第1位を更新

上旬は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。1日は高気圧に覆われて晴れたことや朝鮮半島にある前線に向かって南風が吹いたため気温が上昇し、福岡で最高気温 33.3℃を観測するなど、県内10の観測所で10月の日最高気温の高い方からの第1位を更新した。2日は県内4つの観測所で10月の日最低気温の高い方からの第1位を更新した。2日は前線の影響で多い所で10ミリの雨が降った。5日は前線が九州南岸に停滞したため、県内各地で4～19ミリの雨が降った。気温は、旬を通して平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より2.8～3.8℃高く、旬降水量は6～30ミリ（平年比20～94%）であった。旬日照時間は県内各地で平年より少なかった。

福岡の旬の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は少なく、日照時間はかなり少なかった。

### ○10月中旬：後半は高気圧に覆われて晴れの日が多い、気温はかなり高い

中旬の前半は前線や気圧の谷の影響で曇りの日が多く、後半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。気温は、旬を通して平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より1.1～2.9℃高く、旬降水量は0～14ミリ（平年比0～45%）で平年並か少なかった。旬日照時間は県内各地で平年より多かった。

福岡の旬の平均気温は平年よりかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間は多かった。

### ○10月下旬：天気は周期的に変化

下旬は高気圧と低気圧や前線が交互に通る、天気は周期的に変化した。22日は寒冷前線の影響で県内各地で0～24ミリの雨が降った。28日から30日にかけては低気圧や気圧の谷の影響で雨が降った所もあったが、降水量は数ミリ程度であった。気温は、旬の前半は寒気の影響で平年より低かったが、後半は平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年差-1.0～+0.4℃で、旬降水量は1～26ミリ（平年比6～152%）であった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より少なかった。

なお、県内すべての観測所で10月の月平均気温の高い方からの第2位を記録した。

福岡の旬の平均気温と降水量は平年並、日照時間は少なかった。

## (11) 11月の気象概況

### ○11月上旬：天気は周期的に変化、5日から6日はまとまった雨

上旬は高気圧と前線や気圧の谷が交互に通過して、天気は周期的に変化した。5日から6日は低気圧が対馬海峡を通過したため、県内各地で30～120ミリの雨が降った。特に6日の日降水量は大牟田で110ミリを観測し、11月の日降水量の多い方からの第1位を更新した。7日から9日は福岡で黄砂を観測した。気温は、旬を通して平年並か平年より高く経過した。県内各地の旬平均気温は平年より1.5～2.1℃高く、旬降水量は32～121ミリ（平年比104～465%）と多かった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より多かった。

福岡の旬の平均気温は平年より高く、降水量と日照時間は平年並であった。

### ○11月中旬：低気圧や寒気の影響で、天気は周期的に変化

中旬は低気圧や寒気の影響を受け、天気は周期的に変化した。11日は低気圧が九州南部を通過したため、県内各地で7～44ミリの雨が降った。16日から17日は冬型の気圧配置となり、寒気の影響で県内の沿岸部を中心に0～36ミリの雨が降った。気温は、旬の前半は平年より高い日が多かったが、後半は寒気の影響で平年より低かった。県内各地の旬平均気温は平年差-0.8～+0.4℃で、旬降水量は7～78ミリ（平年比40～316%）であった。旬日照時間は県内各地で平年並か平年より多かった。

福岡の旬の平均気温は平年並、降水量はかなり多く、日照時間は平年並であった。

### ○11月下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多い、26日から27日は大気の状態が不安定

下旬は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、26日から27日は上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、県内各地で3～28ミリの雷を伴った雨が降った。気温は、旬の前半と終わりは寒気の影響で平年より低い日もあったが、その他の日は平年より高かった。30日は大陸からの寒気の影響で日最低気温が黒木で0.5℃となるなど、この秋一番の冷え込みとなった。県内各地の旬平均気温は平年差-0.6～+1.0で、旬降水量は5～35ミリ（平年比17～100%）であった。旬日照時間は県内各地で平年より多かった。

福岡の旬の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は多かった。

## (12) 12月の気象概況

### ○12月上旬：冬型の気圧配置となりやすく、曇りや雨または雪の日が多い

上旬は冬型の気圧配置となりやすく、曇りや雨または雪の日が多かった。4日は寒冷前線の通過後、強い冬型の気圧配置となり、県内各地で雷を伴い4～20ミリの降水量を観測した。気温は、初めは平年より高かったが、その後は真冬並の寒気が流れ込んだため、各地で平年より低く経過した。また、今後も気温の低い状態が続く見込みとなったため、福岡管区気象台は9日に低温に関する福岡県気象情報を発表した。4日は福岡で初雪（平年より9日早く、昨年より26日早い）を観測した。県内各地の旬平均気温は平年より1.0～3.3℃低く、旬降水量は8～51ミリ（平年比53～186%）であった。旬日照時間は県内各地で平年より少なかった。

福岡の旬の平均気温は低く、降水量は平年並、日照時間はかなり少なかった。

### ○12月中旬：冬型の気圧配置となりやすく、気温はかなり低い

中旬は冬型の気圧配置となりやすく、真冬並みの寒気が流れ込んだため、雪やみぞれの降る日が多かった。気温は県内すべての観測所で平年よりかなり低くなった。18日は飯塚で1センチの積雪を観測した。県内各地の旬平均気温は平年より2.9～4.7℃低く、旬降水量は1～33ミリ（平年比6～176%）であった。旬日照時間は県内各地で概ね平年より少なかった。

福岡の旬の平均気温はかなり低く、降水量は平年並、日照時間は少なかった。

### ○12月下旬：冬型の気圧配置となりやすく、22日は久留米で最深積雪5センチ

下旬は冬型の気圧配置となりやすく、曇りや雨または雪の日が多かった。21日から22日にかけては冬型の気圧配置が強まって大気の状態が不安定となり、県内各地で雷を伴い4～20ミリの降水量を観測した。22日は久留米で5センチ、飯塚で1センチ、福岡で0センチの積雪を観測した。気温は旬を通して平年を下回った。県内各地の旬平均気温は平年より2.2～3.7℃低く、旬降水量は8～38ミリ（平年比65～186%）であった。旬日照時間は県内各地で平年並であった。

なお、県内すべての観測所で12月の月平均気温の低い方からの第1位を更新した。

福岡の旬の平均気温は低く、降水量と日照時間は多かった。

### (13) 月別値の階級区分

#### 福岡の月別値の階級区分

年 月	平均気温	降水量	日照時間
平成 17 年 1 月	平年並	少ない	かなり少ない
平成 17 年 2 月	低い	多い	かなり少ない
平成 17 年 3 月	低い	平年並	平年並
平成 17 年 4 月	かなり高い	かなり少ない	かなり多い
平成 17 年 5 月	高い	かなり少ない	かなり多い
平成 17 年 6 月	かなり高い	かなり少ない	多い
平成 17 年 7 月	平年並	平年並	少ない
平成 17 年 8 月	高い	少ない	少ない
平成 17 年 9 月	かなり高い	少ない	多い
平成 17 年 10 月	かなり高い	かなり少ない	少ない
平成 17 年 11 月	高い	多い	平年並
平成 17 年 12 月	かなり低い	平年並	少ない

### (13) 年別値の階級区分

#### 福岡の年の値の階級区分

年	年平均気温	年間降水量	年間日照時間
平成 17 年	高い	かなり少ない	平年並

#### 解説用階級区分について

平成 13 年 1 月から使用を開始した 1971～2000 年統計値からは、「高い（多い）」、「平年並」、「低い（少ない）」の 3 階級を用い、平年から極端に異なった状況を表現する場合には、「かなり高い（多い）」、「かなり低い（少ない）」を補足的に用いることになりました。3 階級の出現率は「33.3%、33.3%、33.3%」（1：1：1）の等確率で、「かなり高い（多い）」、「かなり低い（少ない）」の出現率は 10%です。